

□□ _____ □□

2. お知らせ … 「2024高知全国大会」 (5/24) 受付開始

□□ _____ □□

「2024高知全国大会」が5月24日(金)に開催されます。
全国大会は、総会、自費出版アドバイザー講座、記念講演会、懇親情報交換会という、例年「自費出版漬けの一日」となっています。
プログラム兼申込書(添付)ができましたので、受付開始となりました。早めの申し込みをよろしく願いたします。

□□ _____ □□

☆ 自費出版事情… ~会員便り~No.76

□□ _____ □□

株式会社風詠社 代表取締役 大杉剛

「名刺代わりの1冊」

「NHK文化センターの方からお話があり、『仏陀伝』をテキストとした講座を4月から受け持つこととなりました」。

昨年の第26回日本自費出版文化賞の小説部門で特別賞を受賞された著者、渡邊 亮様からのメールである。

『仏陀伝』は一昨年4月に発行されたが、なにせ790ページにも及ぶ長編小説。中山千夏代表理事が〈選考理由〉に書かれているように、「この題材でこの分厚さの小説では、商業出版になじむまい」。しかし、自費出版された結果、NHK文化センターの方の目に留まり、講師を依頼されたという。

当社は2008年の設立で、今年7月で丸16年となる。年間およそ100点ほど出版させていただいているが、「名刺代わりとなる1冊を出版しませんか」と働きかけてきた。

思い起こせば、『笑う門にはいい介護』という本もあった。吉本の芸人だった中村学様の著作で、自分の親の介護のために吉本をやめ島根へ帰郷。その体験記であるが、ご自身は今、〈笑門介護・中村学事務所〉を運営されている。

また、『宝塚非公認ファンクラブマニュアル』という本は、私設ファンクラブで長年活動されてきた方の経験談で、宝塚ファンには役だっているようだ。

『ほとんど知らないハワイの歴史物語』も版を重ねている。フラダンスの衣装などを販売する株式会社ハレハワイの代表が書かれた本で、ご自身の店でも販売されているようだ。

そして現在編集中の本で楽しみにしているのは、ベテラン服飾デザイナーさんの本。「『感性のコアマッスル』を鍛え、『教養としてのファッション』を身につけよう」と提言されたもので、これまで雑誌などにはしばしば登場されてきたが、著書は初めてとのこと、強力な名刺代わりの1冊に成ることを願っている。

□□ _____ □□

☆ 知つとこ高知 その 11

□□ _____ □□

土佐のカーニバル「よさこい祭り」

よさこい祭りは、毎年8月9日(前夜祭)10日、11日(本番2日)、12日(後夜祭・全国大会)の4日間、高知市内16カ所の競演場・演舞場で約200チーム、18,000人の踊り子が手に持った鳴子を鳴らしながら、地方車には華やかな飾り付けをして市内をパレード形式で乱舞する「土佐のカーニバル」です。

もともとは、戦後の荒廃が落ち着きを見せ始めた昭和29年8月、不況を吹き飛ばし、市民の健康と繁栄を祈願し、併せて夏枯れの商店街振興を促すため高知商工会議所が中心となり発足しました。

昭和29年の第1回は参加21団体、750人。その後、第30回にはついに踊り子人数が1万人を突破しました。

「土佐～の～高知～の はりまや橋で～♪」というフレーズが楽曲の中に入っていればOKなので、音楽や振り付けもサンバ調、ロック調、古典の正調踊りなどチームそれぞれ。老若男女が楽しめるお祭りとなっています。

また、北海道の「YOSAKOIソーラン祭り」、名古屋の「にっぽんど真ん中祭り」など「よさこい祭り」を発祥としたお祭りが全国各地や海外にまで広がっているのも、「マネをするな」などと言わないどころか指導者やチームまで派遣する土佐人気質が影響しています。

結局、自由民権運動からの「自由」「平等」「自立」「創造」といった近代的な価値観がよさこい祭りのキーワードにもなっているのです。

ちなみに、高知大学では共通科目として「よさこい概論」という講義があり、担当講師の川竹大輔氏が書いた『よさこいは、なぜ全国に広がったのか～日本最大の交流する祭り～』（リーブル出版）は2,000部近くを販売するスマッシュヒットとなりました。

（自社の宣伝でスイマセン…。）

リーブル出版（株式会社リーブル）
代表取締役 坂本 圭一朗

★あとかぎ

風詠社大杉さまの「名刺代わりの1冊」というコンセプトはすばらしいですね。どの本も読んでみたくくなりました。

そして来月は高知全国大会、「知っとこ高知」も終盤です。「よさこい」は単に踊るお祭りと思っていましたが、そこには歴史や土佐人気質が表れているのですね。こちらも一度見てみたくくなりました。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

◆日本自費出版ネットワーク事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
電話：03-5623-5411
FAX：03-5623-5473
<http://www.jsjapan.net/>

過去のメールマガジンはコチラからご覧になれます

↓
<https://www.jsjapan.net/pages/mm>
